

(事業所職員向け) 児童発達支援自己評価表 わくわくすまいる穴川

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・クールダウンの部屋も確保でき、十分なスペースが確保されています。
	2 職員の配置数は適切であるか	6		・丁寧な対応が出来る人員配置でマンツーマンサポートが必要なお子様にも安全面を配慮した対応が来ています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		6	・駐車場から玄関・玄関から教室とそれぞれ段差があるのでバリアフリーに適していません。今後は必要にご利用様が利用される際はバリアフリー化を検討します。
	4 送迎など子どもや保護者のニーズに合わせた体制を整えているか	6		・イレギュラーな対応にも報告と相談を行い、可能な限り対応出来ています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6		・ご利用様が安心して通所できるよう、改善が必要な場合はその都度会議を行い情報共有を行っています。
	6 保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		・ご利用様の意見を忠実に受け止め、改善が必要な事案については改善方法など意見交換することで共有・改善に努めています。
	7 この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	6		・ホームページにて公開しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	・現状対応出来ていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		・発達支援について勉強会を行い。必要に応じて事故や怪我の対応など、全員で一緒に学ぶ機会を作っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・今後も小さなニーズや課題をしっかりと分析し、支援に取り入れられるよう計画していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	・まだまだ工夫が必要かと感じております。
	12 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		・月単位で偏りがないバランスのとれた活動プログラムを話し合い立案しています。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・運動、ビジョン、制作等バランスのとれた内容でプログラムを組んでいます。
	14 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	・平日と祝日の内容に大きな変化が見られない為、イベントなど立案し、内容を見直す必要があります。
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・お子様の成長に合わせて、無理のない範囲で課題を設け計画を立てています。
	16 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		6	・送迎時間の兼ね合いで毎日行えていないことが現状ですが、必要な際は都度話し合う時間を設けています。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		6	・送迎時間の兼ね合いで毎日行えていないことが現状ですが、必要な際は都度話し合う時間を設けています。
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		・次に対応する職員が滞りなく支援の準備ができるように配慮しながら当日の記録をつけています。
	19 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・計画を更新する以外にも必要に応じモニタリングを行い目標の修正をしています。
20 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行なっているか	6			
関係機関や保護者	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		・担当者を中心に対応をとっています。
	22 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6		・その都度適切な連絡対応を行っています。

との連携	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6	・ 今後は動画視聴の研修への参加など積極的に行っていきます。
	27	地域との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		6	・ 時間と参加児童によっては事前に情報を得た地域イベントに参加し、地域との交流の場を作ることを検討しています。
	28	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		6	・ 機会があれば参加できるように計画します。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・ 送迎時や面談時に状況共有を行い、今後の療育の方向性など理解できるようにしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・ 小さな漏れがないように丁寧に伝えています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	6		・ すべてが正しい助言とは言い切れないが、お困りごとに関しては必ず相談と解決の時間を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	・ 祝日を利用した少人数からの保護者会の開催を検討しています。(事前に需要調査)
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・ なるべく早い対応を心掛けています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・ 必要最低限の内容でわかりやすい会報を発行しています。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・ 肖像権などご利用様にご迷惑をおかけしないよう今後も慎重に対応してまいります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	・ 児童発達支援の運営上、開催は困難です。	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		・ 今後も見直しをしながら進めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		・ 避難訓練を地震や火災に特化しないように工夫して行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・ 研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		・ 今後該当する児童がいた場合はしっかり対応していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6	・ 現状該当する児童がいないが、今後該当する児童が通所開始する際は事前に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・ 共有と今後の対応を打ち合わせしています。